

広馬場太々神楽だより

No.3 2024年1月28日発行
 発行者 広馬場太々神楽保存会

●広報しんとう 2024年1月号に掲載

村の文化財とわたし

今月は聖宮神社例大祭で太々神楽を奉納されている、広馬場神楽舞保存会会長の一倉憲一さんに、太々神楽についてのお話を伺いました。聖宮神社例大祭は例年4月15日、10月9日に開催されています。

何歳から神楽をしていますか。
 20歳頃です。祖父が太鼓を専門でしていて、小さい頃から見て育ちました。太々神楽を始めてからずっと太鼓を担当しています。今はおどり手が10人くらい。年代は40代から80近い人たちです。

振り返ってみて良かったことは。
 地域での役割を担うなかで、責任感が培われることです。それは先輩たちの姿から教えられたことでもあります。

太々神楽について教えてください。
 太々神楽の太鼓は、曲の出だしの笛が始まれば叩ける。覚えているからね。ずっと太鼓をしてきたが(最近ではメンバーが増えたので)、初めて舞を習いました。縄鼓の舞という演目です。御中という演目は

すべての基本になる踊り。猿田の舞は、堂々として衣装も派手で見ごたえのある踊りです。招福(農夫の面をつけて踊るコミカルな踊り)というのは面白おかしい動きで人気。昔のことだけど、踊りに夢になって神楽殿から落ちた人もいたそうです。昔は独学だったけど、今はスマートフォンで撮影した動画を見て練習しています。

村民の皆さんに伝えたいことはありますか。
 ひとりでもふたりでも、広馬場の住民以外でも、太々神楽に関わって、ひとつ覚えて神楽殿に立ってみようという仲間を増やしたいです。毎月、聖宮神社で練習していますので、興味のある方はお問い合わせください。

問い合わせ先
 文化財保護係
 ☎0279-54-1133

広馬場神楽舞保存会 一倉憲一さん (72歳)

令和5年秋 例大祭



広報しんとう 令和6(2024)年1月号 No.636

発行：榛東村 編集：総務課
 〒370-3593群馬県北群馬郡榛東村大字新井790番地1
 ☎0279-54-2211 ☎0279-54-8225
 ホームページアドレス <https://www.vill.shinto.gunma.jp/>

人口と世帯

| | |
|-----|---------------|
| 総人口 | 14,648人 (-22) |
| 男 | 7,507人 (-22) |
| 女 | 7,141人 (±0) |
| 世帯数 | 6,242戸 (-24) |



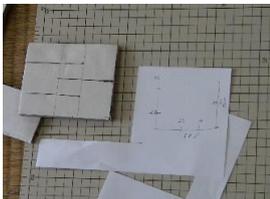
●聖宮神社 令和5年秋 例大祭 令和5年10月9日



◇作成した紙垂、御べろ



●聖宮神社 令和5年秋 例大祭準備 令和5年10月8日



【御幣(幣束)の意味と由来】

御幣は、木や竹でできた「幣串(へいぐし)」と紙の部分「紙垂(しで)」の2つの部分からなり、幣串の先端に紙垂をはさみ込み一体化したものをいいます。

●聖宮神社 令和5年秋 綺羅干し 令和5年11月4日

